



# 北海道大学 低温科学研究所を訪問

1年SSHクラスが北海道大学低温科学研究所を訪問しました。北海道大学低温科学研究所長古川義純教授より、北海道大学について説明を受けた後、生徒は6班に分かれ研究室の方から説明を受けながら研究室・実験室の見学、また宇宙実験（水の結晶成長）に用いた実験装置を目の前に特別講義を受けました。

また、南極大陸で採取された約3000mの水が保管された約1000mの超低温保存室、水コアの分析が行われるマイナス20度の低温実験室も見学し、今回の見学を通じて、何名かの生徒は研究者を目指す志を強く抱いた事と思います。実際にアンケートト集計のデータより、研究者になつてみたいという生徒も多く見受けられています。

# 北海道大学工学部 訪問研修

2年・3年生、計7名で北海道大学工学部へ訪問研修に行きました。工学部の概要を、北海道大学大学院准教授の原田周作先生より話をいただき、実験棟・学生研究室について、工学部・学生研究室について、工学部環境循環システム部門の研究・学生より説明を受けました。また、実習「身近な水の性質を測る」では、水に含まれる種々の成分を知り、市販のミネラルウォーターと札幌市の水道水の違いを調査し、それぞれの水に含まれるイオンの量を測定しました。そして、硬水あるいは軟水の調査を行い、今までの水の名前を知っている程度でした生徒達は「水の硬度にイオンの濃度が関係している」等、理解を深めました。



これまでのSSH活動の中で、生徒の声として、身近な存在の環境に関することになり興味を示す生徒が増えています。今回の訪問研修は、生徒達にとって貴重な体験ばかりで、「自分の生活に密接に関係する水についてだったので、非常に興味深かった」「自分にとつて、とても刺激になった」「実験棟で様々な実験装置を見て、先端技術を用いた研究を見られた」「北大に行きたい」という感想がありました。

# SS英語

SS英語Iでは、国際性を育むと共にコミュニケーション能力を高め、英語による課題研究の成果発表に役立つよう、グループ毎に英語のみでプレゼンテーションを行っています。



# 北大低温研 特別講義

1年SSHクラスのS基礎の授業で、北海道大学低温科学研究所長古川義純教授に本校を訪問いただき、古川先生の話をお聞きして、宇宙実験など最先端研究の実際とそれにかける夢やその魅力を感じ、生徒の志望進路の発見や進路実現へ向けて一層努力するきっかけとなりました。

# SS数学



SS数学Iでは、物理・地学でも応用できる三角関数や、今後習う分野を先駆けて学習しております。

# 北見工大 特別講義

北見工業大学社会環境工学科の亀田貴雄教授に本校を訪問いただき、2年生・3年生、計35名で特別講義を実施しました。「雪結晶研究の歴史」「雪は天からの手紙」、「学校教育における雪結晶生成実験―北見工業大学の物理実験での実施例―」と2時間にわたり講義いただきました。亀田先生より、「好きこそ、物の上手なれ！」というお言葉が大変印象に残りました。